

# 大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査結果について（平成28年度）

## 1. 調査の目的

本調査は、「学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準（平成19年文部科学省告示第41号）」（※1参照）及び「大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査実施要領（平成26年12月12日大学設置・学校法人審議会学校法人分科会長決定）」（※2参照）に基づき、大学等設置に係る寄附行為（変更）認可時の留意事項が確実に履行されているかを確認し、あわせて学校法人の経営の実態及び施設等の整備の進捗状況を把握し、学校法人の健全な経営の確保に必要な指導、助言を行うため実施している。

## 2. 調査の内容・方法

調査は、※2の要領に基づき、大学等の設置が認可された学校法人に対して、原則として当該設置する大学等が完成年次に達するまでの間、毎年度、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会（別紙1）が実施している。

調査の内容は、①認可以降の意見等の履行状況、②施設・設備の年次計画の実施状況、③経営の実態（役員の就任状況などの管理運営面、資産・収支状況などの財政面）、について行っている。

調査の方法は、全ての調査対象学校法人（133法人）に対して書類調査を実施し、そのうち、大学・短大新設等の場合で設置学部等が完成年次を迎えた学校法人を中心に9法人について実地調査を実施し、特例により医学部を増設した1法人について面接調査を実施した。いずれの場合も問題点や課題等があった場合は是正意見又は改善意見として学校法人に通知し、改善を促すものとする。

## 3. 平成28年度調査結果の概要

今回の調査の結果、一部意見が付されたものがあるが、全体的には設置計画が着実に履行されていた。今回の調査結果として各学校法人に付す是正意見及び改善意見は別紙2のとおりであり、調査内容ごとの調査結果の概要は以下のとおりである。

### ① 認可以降に付された意見に対する履行状況

各学校法人においては、認可以降に付された管理運営や財務等に関する意見に対して、その改善に取り組んでいることを確認したが、事案によっては改善状況が十分ではないため、同じ内容について、継続して意見を付す事案が見られた。

### ② 施設・設備の年次計画の実施状況

概ね計画どおり履行されていたが、一部の学校法人で追加工事等により計画に変更が生じる場合において必要な手続きを行っていない事案が見られた。

### ③ 経営の実態

管理運営面において、一部の学校法人で評議員数が理事数の2倍を超えていない事案や、監事が出席せずに理事会又は評議員会を開催するなどの是正が必要な事案が見られた。

財務面においては、定員未充足や収支が継続してマイナスである事について改善が必要な事案が多く見られた。

なお、本調査において付される意見の定義は以下のとおりである。

- (1) 是正意見：法令違反の状況や管理運営上著しく不適切な状況等があり、学校法人に早急な是正を求める事項に付す意見。
- (2) 改善意見：寄附行為に基づいた運営がなされていない場合や、設置計画に基づいた整備がなされていない場合に付す意見。(認可時の留意事項や改善意見を付した事項について、引き続き改善を求める場合を含む。)

## 4. 履行状況報告書の情報公開等

大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備計画の履行状況等を記載した報告書(以下、「履行状況報告書」という)を、学校法人として積極的に公開することは大変意義がある。

また、設置認可と認証評価との連続性の確保が重要な課題であることから、各学校法人におかれては、認証評価機関から履行状況報告書の提出を求められた際には積極的に提供いただくことを期待したい。

なお、設置認可と認証評価の有機的な連携が図られるよう、各認証評価機関に対し、本調査の結果を参考資料として送付することとしたい。

## 5. 平成29年度の実施方針

調査対象については、これまでと同様に、大学等の設置認可後、当該学部等が完成年次に達するまでの期間に該当する学校法人を対象とすることとしたい。調査方法等については、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会における審議等を踏まえ、更なる内容の充実を図ることとしたい。

※1

○学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準

(平成19年文部科学省告示第41号)(抄)

第6 その他

- 3 文部科学大臣は、第1から第4までの規定に基づく認可に係る計画及び留意事項の履行の状況及び学校法人の経営の実態を確認するため必要があると認めるときは、書類、実地等による調査を実施すること。

※2

○大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況調査実施要領

(平成26年12月12日学校法人分科会長決定)(抄)

3 調査方法

調査は、書類調査、実地調査等の方法により、毎年度1回実施する。ただし、特別の必要がある場合は必要に応じてその都度実施する。

4 調査内容

- (1) 留意事項等の履行状況
- (2) 施設・設備の年次計画の実施状況
- (3) 役員の就任状況
- (4) 事務組織の整備状況
- (5) 入学者の状況
- (6) 学校法人の資産及び収支の状況(借入金の状況、学生納付金及び寄附金の状況、給与の支給状況等を含む。)
- (7) その他(学校法人の管理運営状況等)

## 大学設置・学校法人審議会（学校法人分科会）委員名簿

	氏名	現職
	いしだ つねお 石田 恒夫	(学) 石田学園理事長
	うらの みつと 浦野 光人	(株) ニチレイ相談役
	おおくま あきこ 大隈 暁子	公認会計士
○	おぼら よしあき 小原 芳明	(学) 玉川学園理事長・大学長
	かわなみ ひろずみ 川並 弘純	(学) 東京聖徳学園理事長・学園長、聖徳大学短期大学部学長
	こまむら けいご 駒村 圭吾	(学) 慶應義塾 常任理事
	さかい しょうざぶろう 酒井 正三郎	(学) 中央大学理事、総長・大学長
	しまだ よういち 島田 陽一	早稲田大学 副総長・常任理事
	たまたかわ よしひこ 滝川 嘉彦	(学) 滝川学園理事長・学園長
	にしむら えみ 西村 枝美	関西大学法学部教授
	の だ けんじ 野田 賢治	(学) 浪商学園 理事長
◎	ひだか よしひろ 日高 義博	(学) 専修大学 理事長
	ふるさか さちよ 古阪 幸代	WFM Women's Facility Management 代表
	むらた おさむ 村田 治	関西学院大学長

◎：分科会長 ○：分科会長職務代理

## 平成28年度大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況調査意見

調査対象 133法人

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
1	愛知学院	24	研究科増設	愛知学院大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	<input type="radio"/> 特になし <input type="radio"/> 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
2	藍野学院	27	大学院新設	藍野大学大学院	看護学研究科(M)	<input type="radio"/> 特になし <input type="radio"/> 流動比率や繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。
3	青森田中学園	26	学部増設	青森中央学院大学	看護学部	<input type="radio"/> 特になし <input type="radio"/> 資産総額変更登記及び財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
4	朝日大学	26	学部増設	朝日大学	保健医療学部	<input type="radio"/> 特になし <input type="radio"/> 特になし
5	足利工業大学	26	学部増設	足利工業大学	看護学部	<input type="radio"/> 特になし <input type="radio"/> 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 <input type="radio"/> 流動比率や繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。 <input type="radio"/> 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (足利工業大学 工学部 創生工学科)
6	跡見学園	27	学部増設	跡見学園女子大学	観光コミュニティ学部	<input type="radio"/> 特になし <input type="radio"/> 財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。 <input type="radio"/> 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科)
7	幾徳学園	27	学部増設	神奈川工科大学	看護学部	<input type="radio"/> 特になし <input type="radio"/> 特になし
8	池坊学園	28	短大の学科設置	池坊短期大学	幼児保育学科	<input type="radio"/> 特になし <input type="radio"/> 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 <input type="radio"/> 未整備の規程を整備すること。 (役員報酬規程) <input type="radio"/> 代表権の登記及び財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。 <input type="radio"/> 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (池坊短期大学 幼児保育学科) <input type="radio"/> 生徒等の募集を停止中の池坊文化学院については、再開するか否かなどについての検討を行い、適切な措置を講ずること。
9	稲置学園	28	学部増設	金沢星稜大学	人文学部	<input type="radio"/> 特になし <input type="radio"/> 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。 <input type="radio"/> 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (金沢星稜大学 人文学部 国際文化学科)

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
10	いわき明星大学	28	大学の設置者変更	いわき明星大学	理工学研究科(M)(D) 人文学研究科(M)(D) 薬学部 教養学部 (科学技術学部) (人文学部)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (いわき明星大学 教養学部 地域教養学科)</p>
11	岩手医科大学	25 28	研究科増設 短大の設置者変更	岩手医科大学大学院 岩手看護短期大学	薬学研究科[4年制](D) 看護学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
12	江戸川学園	26	学部の学科増設	江戸川大学	メディアコミュニケーション学部 こどもコミュニケーション学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (江戸川大学 社会学部 現代社会学科、メディアコミュニケーション学部 こどもコミュニケーション学科)</p>
13	大阪青山学園	27	学部の学科増設	大阪青山大学	健康科学部看護学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 流動比率や繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
14	大阪医科薬科大学	26	研究科増設	大阪医科大学大学院	看護学研究科(M) 看護学研究科(D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p>
15	大阪経済法律学園	27 28	大学院新設 学部増設	大阪経済法科大学大学院 大阪経済法科大学	経済学研究科(M) 国際学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
16	大阪成蹊学園	26	学部増設	大阪成蹊大学	教育学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p>
17	大手前学園	28	学部増設	大手前大学	健康栄養学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大手前大学 通信教育部 現代社会学部 現代社会学科)</p>
18	沖縄科学技術大学院大学学園	24	大学院大学新設	沖縄科学技術大学院大学	科学技術研究科[5年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
19	学習院	25 28	学部の学科増設 学部増設	学習院大学 学習院大学	文学部教育学科 国際社会科学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
20	加計学園	26 28	学部増設 学部増設	千葉科学大学 岡山理科大学	看護学部 教育学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 経営情報学科 千葉科学大学 薬学部 生命薬科学科、危機管理学部 環境危機管理学科、工学技術危機管理学科)</p> <p>○ 生徒等の募集を停止中の岡山理科大学専門学校商業実務専門課程については、再開するか否かなどについての検討を行い、適切な措置を講ずること。</p>
21	金井学園	27	学部増設	福井工業大学	スポーツ健康科学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
22	金沢医科大学	27	研究科増設	金沢医科大学大学院	看護学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p>
23	金沢学院大学	27 28	研究科増設 学部の学科増設	金沢学院大学大学院 金沢学院大学	スポーツ健康学研究科(M) スポーツ健康学部健康栄養学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (金沢学院短期大学 現代教養学科)</p>
24	金沢工業大学	28	研究科増設	金沢工業大学大学院	イノベーションマネジメント研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
25	河原学園	27 27	学部増設 研究科増設	人間環境大学 人間環境大学大学院	看護学部 看護学研究科(M) 看護学研究科(D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (人間環境大学 人間環境学部 人間環境学科)</p>
26	関西金光学園	26	学部増設	関西福祉大学	発達教育学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
27	関西大学	26	研究科増設	関西大学大学院	人間健康研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
28	関東学院	25	学部増設	関東学院大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
29	君が淵学園	24	研究科増設	崇城大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
30	九州文化学園	26	研究科増設	長崎国際大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
31	京都育英館	26	大学新設	京都看護大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p> <p>○ 未整備の規程を整備すること。 (役員報酬規程、役員退職金支給規程、奨学金給付・貸与規程)</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
32	京都学園	27	学部増設	京都学園大学	健康医療学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (京都学園大学 人文学部 心理学科)</p>
33	京都女子学園	27	研究科増設	京都女子大学大学院	法学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
34	京都橘学園	24 28	学部増設 研究科増設 学部の学科増設	京都橘大学 京都橘大学大学院 京都橘大学	健康科学部 健康科学研究科(M) 健康科学部救急救命学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
35	共立女子学園	25	学部増設	共立女子大学	看護学部	<p>○ 監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。</p> <p>○ 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。</p>
36	金城学園	27 27	学部増設 大学院新設	金城大学 金城大学大学院	看護学部 リハビリテーション学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p>
37	薫英学園	28	学部の学科増設	大阪人間科学大学	人間科学部理学療法学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。</p> <p>○ 評議員会の委任状について、白紙委任ともとれる記載があることから、その在り方について見直すこと。</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大阪人間科学大学 人間科学部 社会福祉学科、医療福祉学科、子ども福祉学科、健康心理学科)</p>
38	光華女子学園	27 27	学部増設 研究科増設	京都光華女子大学 京都光華女子大学大学院	こども教育学部 看護学研究科(M)	<p>○ 評議員数が理事数の2倍を超えていないことから、速やかに是正すること。</p> <p>○ 理事会及び評議員会の委任状について、白紙委任ともとれる記載があることから、その在り方について見直すこと。</p> <p>近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は</p> <p>○ 法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の</p> <p>○ 改善に取り組むこと。 (京都光華女子大学 健康科学部 心理学科、キャリア形成学部 キャリア形成学科)</p>
39	光星学院	28	学部の学科増設	八戸学院大学	人間健康学部看護学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (八戸学院短期大学 ライフデザイン学科)</p>
40	神戸学院	26	学部増設	神戸学院大学	現代社会学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>



NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
41	国際医療福祉大学	24	研究科増設	国際医療福祉大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	○ 特になし ○ 特になし
42	国際学園	26	大学院大学の設置者変更	日本教育大学院大学	学校教育研究科(P)	○ 特になし ○ 流動比率や繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (星槎大学 共生科学部 共生科学科)
43	相模女子大学	25	学部の学科増設	相模女子大学	学芸学部生活デザイン学科	○ 特になし ○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。 ○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (相模女子大学 学芸学部 日本語日本文化学科、英語文化コミュニケーション学科、人間社会学部 社会マネジメント学科)
44	札幌大谷学園	24 24	学部増設 学部の学科増設	札幌大谷大学 札幌大谷大学	社会学部 音楽学部美術学科	○ 特になし ○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。 ○ 寄附金について、募集要項等に任意である旨が明記されていないことから、改善すること。 ○ 財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
45	札幌国際大学	28	研究科増設	札幌国際大学大学院	スポーツ健康指導研究科(M)	○ 特になし ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (札幌国際大学 人文学部 現代文化学科、観光学部 国際観光学科、スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科)
46	三幸学園	26	通信教育課程の開設	小田原短期大学	保育学科	○ 特になし ○ 理事が欠員となっていることから、速やかに補充すること。 ○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。 ○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
47	四條畷学園	27	学部増設	四條畷学園大学	看護学部	○ 特になし ○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 ○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。 ○ 資産総額変更登記及び財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
48	静岡精華学園	27	学部増設	静岡福祉大学	子ども学部	○ 特になし ○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。 ○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (静岡福祉大学 社会福祉学部 医療福祉学科、健康福祉学科)

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
49	四徳学園	27	大学新設	長野保健医療大学	保健科学部	<p>○ 評議員数が理事数の2倍を超えていないことから、速やかに是正すること。</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。</p> <p>○ 代表権の登記及び財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
50	就実学園	24 26	研究科増設 学部増設	就実大学大学院 就実大学	医療薬学研究科[4年制](D) 経営学部	<p>○ 監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。</p> <p>○ 特になし</p>
51	修文学院	28	学部増設	修文大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (修文大学短期大学部 幼児教育学科 第一部)</p>
52	順正学園	24 24 25	通信制学部の開設 研究科増設 学部増設	吉備国際大学 九州保健福祉大学大学院 吉備国際大学	心理学部子ども発達教育学科 (通信教育課程) 医療薬学研究科[4年制](D) 地域創成農学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科、保健医療福祉学部 社会福祉学科、心理学部 心理学科、外国語学部 外国語学科、アニメーション文化学部 アニメーション文化学科、通信教育部心理学部 子ども発達教育学科九州保健福祉大学 社会福祉学部 臨床福祉学科、保健科学部 言語聴覚療法学科、視機能療法学科、通信教育部社会福祉学部 臨床福祉学科)</p>
53	順天堂	27	学部増設	順天堂大学	国際教養学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
54	松蔭学園	27	学部増設	松蔭大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (松蔭大学 経営文化学部 ビジネスマネジメント学科、経営法学科、金融経済学科、コミュニケーション文化学部 異文化コミュニケーション学科、生活心理学科、日本文化コミュニケーション学科、観光メディア文化学部 観光文化学部、メディア情報文化学部、看護学部 看護学科)</p>
55	城西大学	24 24 28	学部増設 研究科増設 学部の学科増設	城西国際大学 城西国際大学大学院 城西国際大学	看護学部 薬学研究科[4年制](D) 福祉総合学部理学療法学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 未整備の規程を整備すること。 (公益通報に関する規程、入学者選抜規程)</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (城西短期大学 ビジネス総合学科)</p>
56	常翔学園	24 24 26 28	学部増設 研究科増設 学部増設 研究科増設	摂南大学 広島国際大学大学院 広島国際大学 摂南大学大学院	看護学部 薬学研究科[4年制](D) 医療栄養学部 看護学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
57	聖徳学園	27	学部増設	岐阜聖徳学園大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
58	湘南ふれあい学園	27	大学新設	湘南医療大学	保健医療学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
59	常陽学園	24 28	大学新設 学部の学科増設	東京医療学院大学 東京医療学院大学	保健医療学部 保険医療学部看護学科	○ 特になし  ○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態 で継続していることから、収支の均衡を前提とした中長 期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確 保を図ること。  ○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償 還し、負債額の減少を図ること。
60	神野学園	28	大学院新設	岐阜医療科学大学大学院	保険医療学研究科(M)	○ 特になし  ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充 足の改善に取り組むこと。 (中日本自動車短期大学 モータースポーツエンジニア リング学科)
61	椋山女学園	26	研究科増設	椋山女学園大学大学院	現代マネジメント研究科(M) 教育学研究科(M)	○ 特になし  ○ 特になし
62	鈴鹿医療科学大学	26	研究科増設	鈴鹿医療科学大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	○ 特になし  ○ 特になし
63	清光学園	25	大学新設	岡崎女子大学	子ども教育学部	○ 特になし  ○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状 態で継続していることから、収支の均衡を前提とした 中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の 安定確保を図ること。  ○ 新設大学の学部と既設の短期大学の学科が同分野 であり法人内で競合することから、それぞれの特色を 踏まえた学生確保の方策について検討し、定員未充 足の改善に取り組むこと。
64	聖泉学園	27	大学院新設	聖泉大学大学院	看護学研究科(M)	○ 特になし  ○ 特になし
65	専修大学	25	学部増設	石巻専修大学	人間学部	○ 特になし  ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未 充足の改善に取り組むこと。 (石巻専修大学 理工学部 機械工学科、情報電子工 学科、食環境学科、経営学部 経営学科、人間学部 人間文化学科)
66	柊檀学園	27	研究科増設	東北福祉大学大学院	教育学研究科(M)	○ 特になし  ○ 特になし
67	創価大学	25 27	学部増設 学部の学科増設	創価大学 創価大学	看護学部 工学部共生創造理工学科	○ 特になし  ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未 充足の改善に取り組むこと。 (創価大学 通信教育部 経済学部、法学部、教育学 部)
68	創志学園	28	短大の設置者変 更学部増設	東京経営短期大学 環太平洋大学	経営総合学科 経営学部	○ 特になし  ○ 理事に教学関係者が少ないことから、教学側の 意見が適切に反映し得る理事構成に見直すこと。  ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未 充足の改善に取り組むこと。 (環太平洋大学 次世代教育学部 教育経営学科[通 信教育課程])
69	タイケン学園	24	大学新設	日本ウェルネススポーツ大学	スポーツプロモーション学部	○ 特になし  ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未 充足の改善に取り組むこと。 (日本ウェルネススポーツ大学 スポーツプロモーション 学部 スポーツプロモーション学科)
70	大乘淑徳学園	24 28	学部の学科増設 研究科増設	淑徳大学 淑徳大学大学院	看護学部栄養学科 看護学研究科(M)	○ 特になし  ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未 充足の改善に取り組むこと。 (淑徳大学 経営学部 観光経営学科)
71	大正大学	28	学部増設	大正大学	地域創生学部	○ 特になし  ○ 理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項 について適切に行うこと。 ・決算に係る理事会及び評議員会の開催順序  ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未 充足の改善に取り組むこと。 (大正大学 地域創生学部 地域創生学科)

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
72	高崎健康福祉大学	24 24	学部増設 研究科増設	高崎健康福祉大学 高崎健康福祉大学大学院	人間発達学部 薬学研究所[4年制](D)	<p>○ 監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。</p> <p>○ 特になし</p>
73	玉田学園	24	学部増設	神戸常盤大学	教育学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (神戸常盤大学短期大学部 看護学科 通信教育課程)</p>
74	玉手山学園	28	学部増設	関西福祉科学大学	教育学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
75	中国学園	27	学部増設	中国学園大学	国際教養学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 定員が充足しない理由を分析するとともに、今まで実施した学生確保のための取組について成果を検証し、定員充足に向け効果的に取り組むこと。 (中国学園大学 国際教養学部)</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (中国短期大学 総合生活学科、情報ビジネス学科)</p>
76	調布学園	27	大学院新設	田園調布学園大学大学院	人間学研究所(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p>
77	鶴岡学園	27	研究科増設	北海道文教大学大学院	健康栄養科学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p>
78	帝京科学大学	28	学部の学科増設	帝京科学大学	医療科学部医療福祉学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (帝京科学大学 医療科学部 医療福祉学科)</p>
79	帝京平成大学	24	研究科増設	帝京平成大学大学院	薬学研究所[4年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (帝京平成大学 通信教育学部 経営マネジメント学科 通信教育課程)</p>
80	鉄蕉館	24	大学新設	亀田医療大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
81	天理大学	27	研究科増設	天理大学大学院	体育学研究所(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
82	天理よろづ相談所学園	24	大学新設	天理医療大学	医療学部	<p>○ 監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。</p> <p>○ 私立学校法に定める理事の職務を認識し、管理運営体制の強化に取り組むこと。</p> <p>○ 基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることや、流動比率や繰越収支差額構成比率が急激に悪化していることから、基本金組入れを考慮しつつ、中長期的な財政計画を直ちに作成し、収支の改善に取り組むこと。</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
83	桐蔭学園	27	研究科増設	桐蔭横浜大学大学院	スポーツ科学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p>
84	東京医科大学	25	学部の学科増設	東京医科大学	医学部看護学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p>
85	東京純心女子学園	27	学部増設	東京純心女子大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (東京純心大学 看護学部 看護学科)</p>
86	東京聖徳学園	26	学部増設	聖徳大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (聖徳大学 文学部 文学科、音楽学部 演奏学科 聖徳大学短期大学部 総合文化学科)</p>
87	同志社	24	研究科増設 学部増設	同志社女子大学大学院 同志社女子大学	薬学研究科[4年制](D) 看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
88	東北医科薬科大学	28	学部増設	東北医科薬科大学	医学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・予算、決算及び監査報告に係る理事会評議員会の開催順序</p>
89	常葉学園	25	学部増設	常葉大学	法学部 健康科学部 経営学部 健康プロデュース学部 保健医療学部 保育学部 社会環境学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (常葉大学短期大学部 英語英文科、音楽科)</p>
90	獨協学園	28	学部増設	姫路獨協大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・予算に係る理事会及び評議員会の開催順序</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (姫路獨協大学 人間社会学群 国際言語文化学類、現代法律学類、産業経営学類 医療保健学部 こども保健学科、臨床工学科)</p>
91	永原学園	26	学部の学科増設	西九州大学	子ども学部心理カウンセリング学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (西九州大学 健康福祉学部 社会福祉学科)</p>
92	名古屋学院大学	25 27	学部増設 学部の学科増設	名古屋学院大学 名古屋学院大学	法学部 スポーツ健康学部 こどもスポーツ教育学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (名古屋学院大学 国際文化学部 国際協力学科、スポーツ健康学部 こどもスポーツ教育学科)</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
93	浪商学園	27	学部増設	大阪体育大学	教育学部	○ 特になし ○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。 ○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。
94	奈良学園	26	学部増設	奈良産業大学	人間教育学部 保健医療学部	○ 特になし ○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。
95	新潟青陵学園	26	研究科増設	新潟青陵大学大学院	看護学研究科(M)	○ 特になし ○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。 ○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。
96	西大和学園	26 28	大学新設 学部増設	和所大学 和所大学	教育学部 保健医療学部 政治経済学部	○ 特になし ○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。
97	日本医療大学	26 27 28	大学新設 学部の学科増設 学部の学科増設	日本医療大学 日本医療大学 日本医療大学	保健医療学部 保健医療学部リハビリテーション学科 保険医療学部診療放射線学科	○ 特になし ○ 特になし
98	日本体育大学	26	学部増設	日本体育大学	保健医療学部	○ 特になし ○ 特になし
99	日本福祉大学	27	学部増設	日本福祉大学	看護学部	○ 特になし ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (日本福祉大学 国際福祉開発学部 国際福祉開発学科)
100	二本松学院	24	大学新設	京都美術工芸大学	工芸学部	○ 特になし ○ 特になし
101	梅花学園	24 27	学部増設 学部の学科増設	梅花女子大学 梅花女子大学	食文化学部 看護学部口腔保健学科	○ 特になし ○ 特になし
102	濱名学院	25 27	学部増設 研究科増設	関西国際大学 関西国際大学大学院	保健医療学部 看護学研究科(M)	○ 特になし ○ 特になし
103	比治山学園	26	学部増設	比治山大学	健康栄養学部	○ 特になし ○ 特になし
104	兵庫医科大学	25	研究科増設	兵庫医療大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	○ 特になし ○ 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。
105	弘前城東学園	26	短大の学科設置	弘前医療福祉大学短期大学部	救急救命学科	○ 特になし ○ 特になし
106	広島文化学園	26	研究科増設	広島文化学園大学大学院	教育学研究科(M)	○ 特になし ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (広島文化学園大学 社会情報学部 グローバルビジネス学科)
107	福島学院	27	学部の学科増設	福島学院大学	福祉学部こども学科	○ 特になし ○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。 ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (福島学院大学 福祉学部 こども学科 福島学院大学短期大学部 食物栄養科)
108	藤田学院	27	大学新設	鳥取看護大学	看護学部	○ 特になし ○ 特になし

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
109	富士修紅学院	28	学部増設	健康科学大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (健康科学大学 看護学部 看護学科)</p>
110	冬木学園	26	研究科増設	畿央大学大学院	教育学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
111	古沢学園	26	学部増設	広島都市学園大学	人間科学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (広島都市学園大学 子ども教育学部 子ども教育学科)</p>
112	法政大学	28	研究科増設	法政大学大学院	スポーツ健康学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (法政大学 法学部(通信教育部)、文学部(通信教育部)、経済学部(通信教育部))</p>
113	峯徳学園	26 27	研究科増設 研究科増設	埼玉学園大学大学院 埼玉学園大学大学院	心理学研究科(M) 子ども教育学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (埼玉学園大学 経済経営学部 経済経営学科)</p>
114	北杜学園	27	短大の学科設置	仙台青葉学院短期大学	栄養学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p>
115	北海道科学大学	26	学部の学科増設	北海道科学大学	保健医療学部 看護学科 理学療法学科 診療放射線学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
116	堀井学園	24 28	大学新設 大学院新設	横浜創英大学 横浜創英大学大学院	看護学部 子ども教育学部 看護学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p>
117	松山大学	26	研究科増設	松山大学大学院	医療薬学研究科[4年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
118	宮城学院	28	学部増設	宮城学院女子大学	現代ビジネス学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。</p> <p>○ 理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・予算に係る理事会及び評議員会の開催順序</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (宮城学院女子大学 学芸学部 人間文化学科)</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
119	宮崎学園	26	学部増設	宮崎国際大学	教育学部	○ 特になし ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (宮崎国際大学 国際教養学部 比較文化学科、教育学部 児童教育学科)
120	武庫川学院	27 27	学部増設 研究科増設	武庫川女子大学 武庫川女子大学大学院	看護学部 看護学研究科(M)	○ 特になし ○ 特になし
121	武蔵野大学	25 26	通信教育課程の開設 通信教育課程の開設	武蔵野大学 武蔵野大学大学院	教育学部児童教育学科 (通信教育課程) 環境学研究科 (通信教育課程)	○ 特になし ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (武蔵野大学 通信教育部 人間科学部 人間科学科、教育学部 児童教育学科)
122	村崎学園	26 28	研究科増設 研究科増設	徳島文理大学大学院 徳島文理大学大学院	看護学研究科(M) 総合政策学研究科(M)	○ 特になし ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (徳島文理大学 人間生活学部 人間生活学科、メディアデザイン学科、保健福祉学部 人間福祉学科、音楽学部 音楽学科、薬学部 薬学科、文学部 日本文学科、英語英米文学科、文化財学科、理工学部 機械創造工学科、ナノ物質工学科 徳島文理短期大学部 生活科学科、保育科、言語コミュニケーション学科、音楽科、商科)
123	明治学院	27	研究科増設	明治学院大学大学院	法と経営学研究科(M)	○ 特になし ○ 特になし
124	明浄学院	25	学部増設	大阪観光大学	国際交流学部	○ 監事の出席していない理事会・評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。 ○ 国際交流学部について、定員充足率が著しく低い水準で推移していることから、学生確保の方策の充実を図るとともに、学部の在り方を検討すること。 ○ 基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることや、流動比率や繰越収支差額構成比率が悪化していることから、法人と教職員が一体となり、中長期的な財政計画の実行などにより、経営基盤の安定確保を図ること。
125	安田学園	25 26	研究科増設 学部増設	安田女子大学大学院 安田女子大学	薬学研究科[4年制](D) 看護学部	○ 特になし ○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
126	山梨学院	27 28	学部増設 学部増設	山梨学院大学 山梨学院大学	国際リベラルアーツ学部 スポーツ科学部	○ 特になし ○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いているとともに、近年、流動比率が低下していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保について速やかに取り組むこと。 ○ 定員未充足の原因分析を行った上で、法人及び大学が一体となり、戦略性を持って各種方策の充実や実効性の向上を図ること。 (山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部 国際リベラルアーツ学科)
127	行岡保健衛生学園	24	大学新設	大阪行岡医療大学	医療学部	○ 特になし ○ 特になし
128	行吉学園	27	学部増設	神戸女子大学	看護学部	○ 特になし ○ 特になし
129	吉田学園	25	大学新設	札幌保健医療大学	看護学部	○ 特になし ○ 特になし
130	立命館	26	研究科増設	立命館大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	○ 特になし ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 国際経営学科)



NO.	学校法人名	開設 年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
131	龍谷大学	27	学部増設	龍谷大学	農学部	○ 特になし
						○ 特になし
132	渡辺学園	26	学部増設	東京家政大学	看護学部 子ども学部	○ 特になし
						○ 特になし
133	和洋学園	26	学部の学科増設	和洋女子大学	人文学群こども発達学類	○ 特になし
						○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態 継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的 な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図 ること。